

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です☒

# よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.6 2008.1.25

菊水福祉のまち推進センター運営委員会  
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10  
電話 011-887-7006 FAX011-887-7006

## 福まち通信

## 高年齢者と子どもの交流会

1月12日(日)、菊水地区会館で、昨年に引き続き「高年齢者と子供の交流会」が開催されました。これは高年齢者と子どもの交流を通して、地域の一体感をより深めてもらおうと、昨年から行っているものです。菊水町内会連絡協議会と福まち推進センターが協力して行っています。開始時間前から小さな子どもたちや高年齢者の方たちが続々と集まり、参加者は160人にも達しました。

### 午前中のプログラム☒



最初に真鍋町内会連絡協議会会長から開会のご挨拶があり、続いて子ども会連絡協議会のジュニアリーダーの指導で、全員で柔軟体操をしました。体

を動かしているうちに、参加者の顔が次第に明るくなっていくのが判ります。その後、山田民生委員協議会会長からボーリングや輪投げ競技のルール説明があり、高年齢者と子どもの混合グループを作り、早速ゲームに入りました。

ミニボーリングでは、ちっちゃな選手や腕に自信のある往年のポラーが、次々とピンに向かってボールを投げます。沢山倒れると歓声上がり、失敗すると俄か監督から優しい指導が入ります。

輪投げはちょっと子どもたちには難しかったようですが、果敢に挑戦していました。高年齢者は年の功とでも言いますか、こつを体が覚えていたようです。

ゲームが終わったチームから今度は1階の会場に移り、ジュニアリーダーたちの指導で「こわれないシャボン玉」づくりに挑戦します。また、別の部屋ではやよい児童会館の職員による指導で昔みんなが遊んだ「パッチ」遊びをします。白地の





円いカードに思いおもいの絵を書いて「マイパッチ」をつくり台の上で競います。

次の部屋では、けん玉やお手玉遊びを高齢者が子どもたちに教えています。また別の部屋では囲碁や将棋、それにオセロゲームも始まっています。



### 午後からのプログラム☒

体を動かしてそろそろおなかが減ってきました。地域の女性民生委員さんたちがカレーライスを作ってくれました。みんなで食べると美味しくて、子どもたちは盛んにお代わりを求めます。

おなか一杯になったところで、午前中のゲームの順位発表と賞品の授与が行われました。山田審判長から五位までのチームにそれぞれ賞品を渡すと、皆さん嬉しそうに受け取っていました。



### バラエティショー☒

最後にお待ちかねの白毛<sup>しらけみちる</sup>満さんのバラエティショーが始まります。本名は伊藤さんといい、日本腹話術師協会会員で腹話術同好会「腹笑会」会員の方です。学校の先生をしていた頃から腹話術を教育の一環として使われていて成果を挙げられていたそうです。定年後その技術を使ってボランティア活動をされています。

最初に新聞紙を使ってお話をします。お父さんと子どもがボート遊びに行ったお話です。新聞紙が帽子になったりハンカチになったり、ボートになったりするたびに子どもたちからは歓声上がり、高齢者たちからは「ホォ…」という声が漏れ拍手が湧き上がります。

続いて、百円ショップから買ってきたという靴下や腕抜きで犬の人形を作り、それで「犬のおまわりさん」の歌をみんなで歌い、交通ルールの大切さを子どもたちに教えました。次は「いただきます・ごちそうさま」を小さなパネルを使い、食べ物の大切さや、作ってくれた人たちに感謝しながら食べることを上手に教えてくれました。さて、

その次は皿回しです。これは子どもたちが主役です。棒の上で回る皿をみつめる目が真剣で、愛おしいほど可愛く感じました。





白毛満さんと元気君の腹話術

最後に人形の「元気君」が登場すると、小学校低学年の子どもたちの目が輝きだします。

元気君が自己紹介を「事故紹介」と間違えると、違う違うとたしなめたり、「学校が嫌いだ」というと、「そんなことはないよ、楽しいんだよ」と身を乗り出して教えます。名前を「元気です」というと、「違う、違う、名前を言うんだよ!」と、舞台に近づき、まるで小さな友達を相手にしているように夢中になって声を張り上げます。



細野委員長の挨拶

楽しい時間も終わり、最後に細野福まち推進運営委員長の挨拶で会を終了し、お土産を手にして皆さんは家路につきました。

## 子育てサロン訪問 子育てサロンとは☒

子どもは、子どもと子どもを取り巻く環境や人々とのかかわりの中で成長していきます。近年、この家庭や地域社会が、都市化や就労形態・価値観の変化などにより大きく変容し、その結果、児童虐待や遺棄など子育てに関するいろいろな問題が指摘されるようになってきました。そのため、家庭の育児力の向上や地域の子育て環境づくりを、行政と地域社会が協力しあい、すべての子どもの好ましい子育てを支援するシステムを用意しました。



プリンプリン会場



お姉さんと一緒に

☒子育て支援は親支援 子育てにとって、親同士の関係が重要です。核家族化が進み、親と子どもだけの家族が増えています。親自身が友人をつくるのが難しくなっている現状では、子育ての情報を同じ子育てをしている仲間から、または子育ての先輩たちから貰うことが大切です。そのためにも、この子育てサロンは大切な情報交換の場ともなっているのです。

事前の申し込みは不要ですし、開催している日時はばらばらですが、主催者にお問い合わせの上お気軽にご参加してみてくださいはいかがですか。(参加費は無料です)

ぷりんぷりん☒10月4日午前中、上白石小学校で開催されている子育てサロン「ぷりんぷりん」を訪ねました。ここはボランティアにより構成される「上白石子育てふれあいサロン運営委員会」が運営している子育て

サロンです。3歳児までの親子が、常時30組ぐらい参加しています。この日は上白石小学校の2年生のお兄さんやお姉さんも参加していました。色々なおもちゃで遊んだり、人形劇や体操を楽しんでいました。

### どんぐりころころ

10月9日の午前中、菊水地区会館で行わ



れている子育てサロン「どんぐりころころ」を訪ねました。ここは菊水地区民生委員・児童委員協議会が主体となり、それに地区町内女性部が加わって運営されています。この日はミニ運動会が行われていました。お母さんと一緒に、お遊戯や風船運びなどをしている子どもたちは、目を輝かせて一生懸命体を動か



どんぐりころころミニ運動会

かしていました。



## 青葉保育園子育てサロン

12月11日午前中、札幌市立青葉保育園で行われている子育てサロンに伺いました。この日はお誕生会を園児と一緒に楽しんでいました。青葉保育園では、0歳～就学前のお子さんとお母さんが対象になる「なかよしひろば」と、妊婦さん、0歳～1歳2ヶ月前後



のお子さんとお母さんを対象とする「ハイハイひろば」(火・木の午後)があります。専属の保育士さんが配置されていて、育児や保育に関する専門的なアドバイスを聞くことができますし、毎日開催されているのが特徴です。☒

## ペンギんクラブ

12月14日の午前中、勤医協札幌病院裏の菊水ビル3階で行われている子育てサロン「ペンギんクラブ」に行ってきました。ここは、菊水地区では一番新しいサロンで、「菊水こどもふれあいサロン実行委員会」が運営しています。委員長は子ども診療所のお医者さんで、病院のスタッフとボランティア5名で月2回開催しています。福祉系の学生やインターン医師も参加しているそうです。



## 菊水やよい児童会館

12月20日の午前中、児童会館が行っている子育てサロンを訪ねました。児童会館は市から委託を受けた「札幌市青少年女性活動協会」が運営している施設で、乳幼児から高校生までの児童生徒が利用しています。館長はじめ2名の指導員が常勤していて、利用者のお世話をしていますが、子育てサロンはそのほかに地区民生・児童委員の皆さんがボランティアとしてお手伝いしています。



サンタとアンパンマン体操

この日は、クリスマス行事が行われていて、40組を越す親子が参加していました。おもちゃで遊んだり、福笑いゲームを楽しんだ後に、サンタクロースとトナカイさんが登場し、アンパンマン体操をみんなと一緒にしました。帰りには子どもたち一人ひとりにサンタからプレゼントが渡され、溢れる笑顔が会場を埋め尽くしました



サンタからのプレゼント

## 菊水地区子育てサロン一覧

名称	開催日	時間	主催者と問い合わせ先
菊水やよい児童会館 菊水1条4丁目6-61	毎週木曜日	10:30~12:00	菊水やよい児童会館 (Tel.841-5150)
どんぐりころころ(菊水地区会館) 菊水7条2丁目2-20	第2火曜日	10:00~11:45	菊水地区民生委員児童委員協議会 (Tel.811-9445)菊水まちづくりセンター
ぷりんぷりん(上白石小学校) 菊水上町1条3丁目52	2/6、2/28	10:00~12:00	上白石子育てふれあいサロン運営委員会 (Tel.811-9445)菊水まちづくりセンター
ペンぎんクラブ(菊水ビル3F) 菊水4条1丁目8-17	第2、4金曜日 ※祝日の場合は休み	10:00~12:00	菊水こどもふれあいサロン実行委員会 (Tel.833-3633)
札幌市青葉保育園 菊水5条2丁目1-4	月曜日~金曜日	午前・午後	青葉保育園 (Tel.816-0277)

※1 この会場でも利用できます。また二つ以上の会場を利用してもかまいません。

※2 開催日は上記のとおりですが、念のため主催者にお問い合わせください。

## 編集後記

年が変わり福まち通信もおかげさまで2年目を迎えます。福祉のまちづくりにとって情報の重要性を改めて認識し、紙面の充実に向けて鋭意努めてまいっている所存です。皆様のご支援とご協力をお願いします。

福まち広報部